

# 青春シニア

88

## 小中校で「読み聞かせ」

17年前、市内音訳サークル「つくしんぼ」への入会をきっかけに、絵本の読み聞かせボランティアへと活躍の幅を広げてきた嘉数善子さん(69)は、市内小中学校で読

嘉数善子さん (69歳・豊見城市)



絵本ボランティアを長年続け「毎日が充実している」と笑顔で語る嘉数善子さん

11月30日、豊見城市平良の自宅

生徒たちとの出会いが続ける原動力になっている。ある中学校で出会ったやんちゃな生徒たち。最初のころ、集中して聴けなかったが卒業間際「おばさん、絵本を読んでくれたよね。迷惑掛けてごめんね」と語った。「その言葉に感動して、やっついて良かったと思っただ」と実感を込める。

大阪市出身。1989年、夫・陽之男さんの実家がある同市に転居した。長年、市婦人連合会、市赤十字奉仕団でも活動。「1人では何もできないが、みんなで活動すれば社会の一隅を照らす光になる。地域の人に育てられたから恩返ししたい」とはつらつとした笑顔で語った。(高江洲洋子)